

第8章 計画の達成状況の評価

1. 評価指標と目標値

本計画の基本方針を実現するため、計画期間中に達成すべき目標の評価指標及び目標値を以下のとおり設定します。

目標1 既存の骨格を活かした効率的な公共交通ネットワークの形成		
評価指標	現状値	目標値（平成35年度）
指標1 路線バス（市内完結系統、乗合タクシー等を含む）の利用者数	334,890 人/年 （平成28年度）	335,000 人/年

目標2 公共交通サービスが行き届いていない地域への移動手段の確保		
評価指標	現状値	目標値（平成35年度）
指標2 公共交通（タクシーと離島航路を除く）の人口カバー率	71.7 % （平成22年国勢調査）	75 %

目標3 誰もが利用しやすい公共交通環境の充実		
評価指標	現状値（平成28年度）	目標値（平成35年度）
指標3 公共交通（路線バス・鉄道）の利便性に対する満足度	37.8 %	50 %

目標4 公共交通に関する意識の醸成		
評価指標	現状値（平成28年度）	目標値（平成35年度）
指標4 公共交通（路線バス・鉄道）を利用する人の割合	路線バス：25.9 %	路線バス：31 %
	鉄道：63.5 %	鉄道：68 %

(参考) 評価指標の算定方法及び目標値設定の考え方

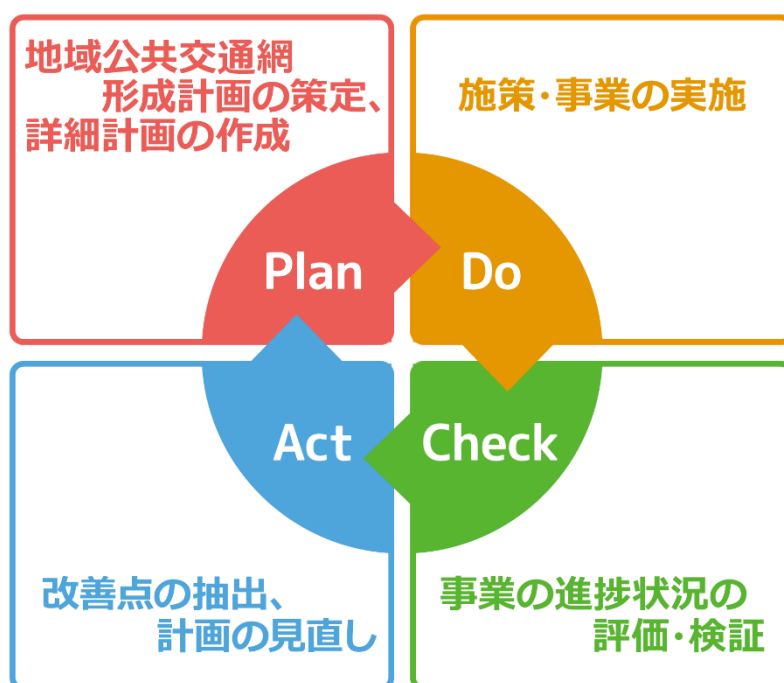
評価指標		指標の算定方法	目標値設定の考え方
指標 1	路線バス（市内完結系統、乗合タクシー等を含む）の利用者数	交通事業者への聞き取りと利用実績による把握	今後利用者の減少が予測される中、公共交通ネットワークの再編や利用環境の向上、利用促進を図ることにより、現状程度の利用者を維持することを目標とします。（p.22）
		評価時期：毎年度	
指標 2	公共交通（タクシーと離島航路を除く）の人口カバー率	国勢調査による把握	バス路線の見直しや新たな交通モードの導入により、タクシーと離島航路を除く公共交通の人口カバー率が、約3%増加することを目標とします。（p.17）
		評価時期：平成 35 年度	
指標 3	公共交通（路線バス・鉄道）の利便性に対する満足度	市民アンケート調査の実施による把握	乗り継ぎの円滑化や利用環境の向上により、公共交通（路線バス・鉄道）の利便性に対する満足度の割合が、市民の半数以上となることを目標とします。（p.39）
		評価時期：平成 35 年度	
指標 4	公共交通（路線バス・鉄道）を利用する人の割合	市民アンケート調査の実施による把握	利用環境の向上や利用促進により、路線バス、鉄道ともにそれぞれ年 1 回以上利用する人の割合が、約 5%増加することを目標とします。（p.39）
		評価時期：平成 35 年度	

2. 計画の達成状況の評価

計画に掲げた目標の実現を図るため、防府市地域公共交通活性化協議会で事業の進捗状況を評価・検証します。

また、上位計画の改訂や社会情勢の変化、交通分野における技術革新など特段の配慮が生じた場合、必要に応じて計画の見直しを行います。

計画の推進にあたっては、PDCAサイクル（Plan（地域公共交通網形成計画の策定、詳細計画の作成）、Do（施策・事業の実施）、Check（事業の進捗状況の評価・検証）、Act（改善点の抽出、計画の見直し））による継続的な改善を図ります。



図表 110 PDCAサイクルの実施内容